

日本宗教学会

第 48 回 学 術 大 会

期 日 1989年 9 月 14日(木)~16日(土)

会 場 獨 協 大 学

埼玉県草加市学園町 1 - 1

—お知らせ・お願い—

1. 受付で名札をお受け取りください。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、なるべく発表の2番前には、その部会会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっています。発表時間の厳守をお願い致します。
5. 研究発表のレジュメ（1,600字程度）を部会責任者にお渡し下さい。
（9月16日午後4時20分締め切り。以後は一切受け付けませんので御注意下さい。）
6. 荷物は所定のクロークを御利用下さい。
7. 中央棟2階の食堂が営業しておりますので、昼食等に御利用下さい。
（11:30~13:30）
8. 9月15日、16日の大会本部への電話連絡は次の番号を御使用下さい。

TEL 0489-42-1111（中央棟3階第4会議室）

受付	3棟ロビー
会員休憩所	3棟-206教室
クローク	3棟-207教室
日本宗教学会本部	3棟-202教室
第48回学術大会本部	中央棟3階第4会議室
学術大会本部準備室	3棟-203教室

日 程

9月14日 (木)

学会賞選考委員会	(中央棟 7 階共同研究室)	12:00~14:00
公開講演会	(中央棟 3 階大会議室)	14:00~16:00
『ターミナル・ケアに見る 人間の問題』	獨協医科大学教授 吉村正治氏	
「宗教研究」編集委員会	(中央棟 7 階共同研究室)	16:00~17:00
理事会	(中央棟 3 階大会議室)	16:30~17:30

9月15日 (金)

開 会 式	(3 棟 4 階404教室)	9:00~ 9:30
研 究 発 表	(3 棟各教室)	9:30~12:10
評 議 員 会	(中央棟 3 階大会議室)	12:00~13:00
研 究 発 表	(3 棟各教室)	13:00~17:20

9月16日 (土)

研 究 発 表	(3 棟各教室)	9:00~12:00
「宗教研究」編集委員会	(中央棟 7 階共同研究室)	12:00~13:00
研 究 発 表	(3 棟各教室)	13:00~16:20
総会・閉会式	(3 棟 4 階404教室)	16:30~17:30
懇 親 会	(中央棟 3 階大会議室)	18:00~20:00

第 1 部会 (3棟—209)

9月15日(金) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 死の受容とその説示法 | 竹中 義実 (曹洞宗教化研修所) |
| 2. 宗教における「自由」の問題 | 市川 裕 (筑波大) |
| 3. 自由と無と信の問題 | 長谷 正當 (京大) |
| 4. グローバル化と無国籍宗教 | 井上 順孝 (國學院大) |
| 5. 宗教の世俗化と社会性 | 高橋 正巳 (駒大) |
| 6. イギリス国教制の論理と課題—政教関係の一類型の考察 | 中野 毅 (創価大) |
| 7. 政教分離論—理論的検証 | 井門 富二夫 (桜美林大) |

9月15日(金) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 8. 宗教学的方法としての地方(じかた)学—新渡戸稻造と柳田國男 | 関 一 敏 (筑波大) |
| 9. 山本良吉と宝山良雄の比較について | 松本 皓一 (駒大) |
| 10. 禪の死生観と聖書の死生観 | 名木田 薫 (岡山理科大) |
| 11. 宗教と無意識—渋沢龍彦の夢幻界 | 椿 實 (江戸川区教育研究所) |
| 12. 佐田介石の世界観—仏基の対論(4)— | 芹川 博通 (淑徳短大) |
| 13. 仏教とナショナリズム—聖俗二分法の再検討 | 笠井 正弘 (西日本短大) |
| 14. 元型論における一神教モデルと多神教モデル | 渡辺 学 (南山大) |
| 15. 父性原理の諸相 | 河東 仁 (桜美林大) |
| 16. ゲーテの汎神論と仏教の即事而真論の類似について | 環 栄賢 |
| 17. 宗教の性差別構造分析 | 大越 愛子 (京都産大) |
| 18. 新宗教における女性のあり方 | 薄井 篤子 (九大) |
| 19. 女性学的解釈の可能性 | 中村 恭子 (川村女大) |

9月16日(土) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 20. 「人が神になる」宗教意識の構造—「世俗」化論再考へ向けて | 笹尾 典代 (筑波大) |
| 21. リベルタンの自由思想について | 玉井 実 (東京工芸大) |
| 22. 民衆宗教における救いについて | 松井 圭介 (筑波大) |
| 23. 民衆宗教とアルカイズムについて | 荒木 美智雄 (筑波大) |
| 24. 「けがれ」とその浄化 | 柳川 啓一 (國學院大) |
| 25. 呪術から神秘主義へ | 池田 昭 (中京大) |
| 26. 女神考—比較宗教学への一試論 | 山崎 美恵 (鷗友学園) |
| 27. 比較宗教と帰一—の思想 | 脇本 平也 (駒大) |

9月16日(土) 午後(13:00~16:20)

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 28. Van der Leeuw における「宗教」の理念とその根底 | 華園 聰磨 (東北大) |
| 29. 宗教・芸術の可能性—ヴァン・デル・レーウを導きに一 | 石井 誠士 (京大) |
| 30. オットーにおける「発展」について | 加藤 浩二 (東北大) |
| 31. 信仰の現象学と言語 | 澤井 義次 (天理大) |
| 32. 宗教における言葉の問題 | 大峯 顯 (阪大) |
| 33. 宗教対話の意味と世界平和について | 管井 大果 (甲子園短大) |
| 34. 言説の構造化と集団形成の過程 | 島田 裕巳 (放送教育開発センター) |
| 35. 象徴的言語使用と宗教理解 | 結城 敏也 (ICU) |

第2部会 (3棟—210)

9月15日(金) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 1. フィヒテの宗教哲学 | 岡田 勝明 (姫路獨協大) |
| 2. フィヒテ知識学における「衝動」について | 美濃部 仁 (京大) |
| 3. 離脱の思想—マイスター・エックハルトに於ける真人の問題 | 寺西 美佳 (京大) |
| 4. マイスター・エックハルトにおける「根底」について | 松井 吉康 (京大) |
| 5. ハイデggerにおける「故郷(Heimat)」の問題—その2— | 神尾 和寿 (新居浜高専) |
| 6. ハイデggerの時間性解釈 | 石倉 順一 (京大) |
| 7. 自覚としての実存論的分析論—「存在と時間」解釈の試み | 仲原 孝 (大阪外大) |
| 8. ハイデggerに於ける「根本気分」と哲学 | 秋富 克哉 (京大) |

9月15日(金) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 9. ヘルダーリンの太陽観の変化 | 長井 英子 (関東学院大) |
| 10. ル・フォールにおける「死」 | 八木 博 (山梨大) |
| 11. パスカルのデカルト観 | 宮永 泉 (大谷大) |
| 12. メーヌ・ド・ピランにおける自我と身体 | 岩田 文昭 (京大) |
| 13. ベルクソンの神秘的直観論 | 池田 士郎 (天理大) |
| 14. 人間の三重の生—シュヴェンクフェルトとベーメにおける— | 深澤 英隆 (東大) |
| 15. ライプニッツにおける理性と信仰 | 笠井 貞 (群馬大) |
| 16. ライプニッツにおける「記憶」について | 岡部 英男 (立正大) |
| 17. シェリングに於ける「存在の根本矛盾」について | 森 哲郎 (京大) |
| 18. シェリング哲学における神話の一考察 | 諸岡 道比古 (弘前大) |
| 19. シェラーにおける人間理解と神の理念 | 浅野 博之 (東北大) |
| 20. シェラーの「自然的宗教」について | 宮崎 真矢 (東北大) |

9月16日(土) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| 21. ヤスパースの神秘主義的沈黙—「ハイデggerへの覚書」における | 八巻 和彦 (和歌山大) |
| 22. ヘーゲルとヤコビー (ヤコビーの「無神論者」宣言をめぐって) | 中嶋 秀憲 (九州産大) |
| 23. ヘーゲルのイエス論 | 氷見 潔 (奈良県立短大) |
| 24. ヘーゲル「キリスト教の精神とその運命」におけるイエスと教団 | 金谷 佳一 (成蹊高校) |
| 25. 歴史と人倫—ヘーゲル「自然法」論文を中心にして | 長島 隆 (日本医大) |
| 26. 初期ヘーゲルにおけるカント道徳哲学の問題 | 日暮 雅夫 (早大) |
| 27. カントにおける道徳と宗教 | 谷口 静浩 (関学大) |
| 28. レヴィナスにおける「孤独」について | 谷口 龍男 (早大) |

9月16日(土) 午後(13:00~16:20)

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 29. プラトン対話篇のタイトルの意味について | 保坂 幸博 (東海大) |
| 30. プラトンの靈魂論とパルメニデスの断片について | 岡本 修 (東海大) |
| 31. 十字架の聖ヨハネにおける苦悩と愛の燃焼 | 澤田 愛子 (北大医技短大) |
| 32. 方法としての「体験」の射程—言語哲学的視座との比較を通して | 藤原 聖子 (東大) |
| 33. 精神医学の哲学的問題性 | 土井 道子 |
| 34. フッサール現象学における「歴史」の主体について | 司馬 春英 (立正大) |
| 35. ウィトゲンシュタインの死生観 | 星川 啓慈 (図書館情報大) |
| 36. ジョン・ヒックの宗教多元論 | 間瀬 啓允 (慶大) |

第 3 部 会 (3 棟—205)

9月15日(金) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. プロチノスと否定神学 | 阿部 秀男 (北海道教育大) |
| 2. ルターとキェルケゴールにおける神の義について | 早乙女 禮子 (大阪体育大) |
| 3. キェルケゴールのカントへの関係 | 佐藤 幸治 (大阪外大) |
| 4. キェルケゴールにおける「沈黙」の示唆するもの | 平林 孝裕 (筑波大) |
| 5. キェルケゴールにおける生成について | 長谷 修孝 (法大) |
| 6. キェルケゴールとティリッヒ | 山中 利美 (愛知教育大) |
| 7. キェルケゴールとフォイエルバッハ | 国井 哲義 (大阪工業大) |

9月15日(金) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 8. P. ティリッヒにおける宗教的認識 | 芹名 定道 (大阪市大) |
| 9. ティリッヒ『組織神学』(3) —哲学と神学— | 日下部 哲夫 |
| 10. 時の中での永遠—エロースに於ける不死の問題 | 澤田 隆幸 (道都大) |
| 11. トマス・アクィナス宗教論の現代的意義— SCGLI を中心にして | 岸 英司 (英知大) |
| 12. 主人と僕—アリストテレスの規定のトマスによる受容と変容 | 佐々木 亘 (南山大) |
| 13. キリスト教における宗教の神学 | 高田 信良 (龍大) |
| 14. 『創世記注解』と tempus について | 小阪 康治 (早大) |
| 15. アンセルムスと聖書—『モノロギオン』を中心に— | 矢内 義顕 (神田外大) |
| 16. 中世におけるボエシウスの意味論 | 古田 暁 (神田外大) |
| 17. 『知ある無知について』第2巻における世界と個物の関係 | 山下一 道 (芦屋大) |
| 18. 『霊操』に見る聖イグナチオの神 | 小林 紀由 (日大) |
| 19. トーマス・ミュンツァーと終末観 | 木塚 隆志 (東大) |

9月16日(土) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 20. ウェスレーのキリスト論：預言者キリスト | 野村 誠 (共愛女短大) |
| 21. 聖書の贖罪精神とキリスト論—新英語訳聖書を中心にして— | 木原 範恭 (近大) |
| 22. ロバート・グロステストのキリスト論 | 降旗 芳彦 (東海大) |
| 23. 教育勅語衍義書のキリスト観 | 長江 弘晃 (日大) |
| 24. 初期バルト神学における「弁証法」をめぐって | 佐々木 徹 |
| 25. K.バルトにおける「ミュトスとロゴス」—その宗教言語の特質 | 掛川 富康 (茨城キリスト教大) |
| 26. 聖書的世界と伝統—リクールの聖書の解釈学 | 巻田 悦郎 (筑波大) |
| 27. グレンベックのキェルケゴール観 | 西倉 直樹 (東北大) |

9月16日(土) 午後(13:00~16:20)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 28. ヨハネ福音書における(人称・指示)代名詞の問題 | 佐々木 啓 (北大) |
| 29. マルコの聖餐理解の一考察 | 挽地 茂男 (東大) |
| 30. 初期キリスト教の「生活世界」 | 土屋 博 (北大) |
| 31. 初期キリスト教思想における「懈怠」の概念 | 久山 道彦 (京大) |
| 32. 神論における相対主義 | 小川 圭治 (筑波大) |
| 33. イエスと当時の伝統 | Clark Offner (名古屋学院大) |

第4部会 (3棟—204)

9月15日(金) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 上座部仏教圏のキリスト教 | 浜田 哲也 (東 大) |
| 2. 生月カクレキリシタンの信仰構造 | 宮崎 賢太郎 (長崎純心女短大) |
| 3. かくれキリシタンの一研究—とくに信仰継承をめぐる | 坂井 信生 (九 大) |
| 4. 東海北陸地方におけるキリシタンの宗教観についての一考察 | 青山 玄 (南 山 大) |
| 5. 経済発展下の台湾山地人と基督教の研究 | 坂本 陽明 (輔 仁 大) |
| 6. 「提謂波利経」と中華思想 | 春本 秀雄 (大 正 大) |
| 7. 井上円了とインド哲学 | 菅沼 晃 (東 洋 大) |

9月15日(金) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|---|-----------------|
| 8. 「六祖壇経」の五本七冊について (五) | 長嶋 孝行 (国立国会図書館) |
| 9. 三階教の時代観について | 桑原 勇慈 (大 正 大) |
| 10. 「諸行無常」と「諸法無我」 | 森 章司 (東 洋 大) |
| 11. 大乘仏典と真実語 (satyavacana) | 若原 雄昭 (龍 大) |
| 12. 般若経に説かれる現世利益説 | 勝崎 裕彦 (大 正 大) |
| 13. 他学説のサーンキヤ観—caitanya を中心に— | 浅野 玄誠 (大 谷 大) |
| 14. diṭṭhe [va] dhamme, diṭṭha—dhamma—などの解釈をめぐる | 田崎 國彦 |
| 15. ヴェーダ聖典における禁止 (niśedha) の本質的意味 | 丸井 浩 (東方研究会) |
| 16. デイグナーガにおける原子論 | 寺石 悦章 (筑波大) |
| 17. ヴィジュニャーナビクシュの自己光照批判 | 佐藤 裕之 (東 大) |
| 18. ラリタヴィスタラ原形の追加部分・普曜経巻八について | 岡野 潔 (東 北 大) |

9月16日(土) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 19. 瑜伽者における〈心〉と〈身〉 | 生井 智紹 (高野山大) |
| 20. 西双版納の上座部仏教受容について | 宇治谷 顕 (名古屋音大) |
| 21. 死生について—初期仏教・初期ジャイナ教の資料を中心にして | 杉岡 信行 (大 谷 大) |
| 22. シヴァ神の宇宙観 | 高島 淳 (日本学術振興会) |
| 23. 現代インドにおけるヒンドゥー教の危機意識の焦点 | 葛西 實 (I C U) |
| 24. プータの憑依現象に見る神意の伝達—南インドの事例 | 河野 亮仙 (大 正 大) |

9月16日(土) 午後(13:00~16:20)

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 25. 古代中国の喪禮に於ける宗教制度と思想 | 栗原 圭介 (大東文化大) |
| 26. 古代中国の孝思想—特に祖先崇拜研究との関連において | 池澤 優 (東 大) |
| 27. 古代中国の地母神研究—「楚辞」離騷を中心とした一考察 | 森 雅子 (慶 大) |
| 28. 仏道論争に於ける『老子西昇経』 | 前田 繁樹 (山村女短大) |
| 29. 一貫道に於ける諸問題 | 岡田 栄照 |

第 5 部会 (3 棟—309)

9月15日(金) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 「弘法大師逆修日記事」からみた十三仏信仰 | 渡 辺 章 悟 (東 洋 大) |
| 2. 空海に於ける三昧耶戒授戒作法をめぐって | 苫米地 誠 一 (大 正 大) |
| 3. 弘法大師の貴賤観について | 武 内 孝 善 (高 野 山 大) |
| 4. 密教弥陀名号の周辺 | 斎 藤 彦 松 (梵 字 資 料 研) |
| 5. 日蓮遺文不敬事件の背景 | 小 野 文 瑠 (立 正 大) |
| 6. 日蓮の宗教的自覚をめぐる考察—「行者」の自覚と「謗法」の意識 | 間 宮 啓 壬 (東 北 大) |
| 7. 近世日蓮教団における歴史観 | 糸 久 宝 賢 (立 正 大) |
| 8. 日蓮聖人の仏種論の基盤 | 関 戸 堯 海 (立 正 大) |

9月15日(金) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 9. 「浄土論註」における「仏種」について | 三 明 智 彰 (大 谷 大) |
| 10. 「歎異抄」の後序につきて | 徳 永 大 信 (九 州 龍 谷 短 大) |
| 11. 浄土教徒の社会的実践 (3) —解放の真宗教学を阻むもの | 菱 木 政 晴 (西 山 短 大) |
| 12. 法然と親鸞—宗教における師資相承について | 館 熙 道 |
| 13. 学問としての浄土宗学のあり方について | 渡 辺 真 弘 (大 正 大) |
| 14. 本願念佛の一視点 | 久米原 恒 久 (浄 土 宗 教 学 院) |
| 15. 教行寺本『教行信証』について | 鳥 越 正 道 (真 宗 教 学 研) |
| 16. 唯心と信心 | 須 藤 了 深 (大 谷 大) |
| 17. 『真如堂縁起』について—伊勢守貞經・貞國を中心に | 金 子 寛 哉 (大 正 大) |
| 18. 『正法眼蔵』における遍界について | 栗 谷 良 道 (曹 洞 宗 宗 学 研 究 所) |
| 19. 「正法眼蔵」と唯識思想 | 松 岡 由 香 子 (龍 大) |
| 20. 道元禪師の教説と論理 | 岡 島 秀 隆 (愛 知 学 院 大) |

9月16日(土) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 21. 親鸞の二種回向論 | 寺 川 俊 昭 (大 谷 大) |
| 22. 親鸞の草木国土悉皆成仏について | 徳 永 道 雄 (京 都 女 子) |
| 23. 二河譬喩の実存論的解釈 | 遠 山 諦 虔 (日 大) |
| 24. 『教行信証』における「教誡」の意味について | 安 藤 文 雄 (大 谷 大) |
| 25. 妙好人才市の念仏信仰 | 新 保 哲 (姫 路 獨 協 大) |
| 26. 真宗門徒の行動様式—無墓制村落における真宗門徒— | 本 林 靖 久 (大 谷 大) |
| 27. 「浄土真宗」とは何か—現代教学考究の一視点 | 桃 井 信 行 (龍 大) |
| 28. 「正伝」を中心とした禅と教化の一視点 | 深 瀬 俊 路 (曹 洞 宗 教 化 研 究 所) |

9月16日(土) 午後(13:00~16:20)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 29. 『万葉集』と奈良朝仏教 | 城 戸 裕 子 (駒 大) |
| 30. 鎌倉仏教における祖師信仰 | 林 淳 (愛 知 学 院 大) |
| 31. 『安心決定鈔』の基本思想について | 畠 山 正 信 |
| 32. 聖光房弁長と西山義 | 廣 川 堯 敏 (大 正 大) |
| 33. 藤堂本『決定往生集』について | 坂 上 雅 翁 (淑 徳 短 大) |
| 34. 了庵慧明とその門下について | 熊 本 英 人 (曹 洞 宗 宗 学 研 究 所) |
| 35. 大智禪師の著作について | 安 藤 嘉 則 (曹 洞 宗 宗 学 研 究 所) |
| 36. 盤珪禅と森田療法 | 田 原 圭 介 |

第6部会(3棟-310)

9月15日(金) 午前(9:30~12:)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 聖なるものとしての「家族」—新宗教における実践的倫理規範 | 井 桁 碧 (聖 心 女 大) |
| 2. 祖先崇拜における聖なる時間について | 木 村 登 次 (南 山 宗 教 文 化 研) |
| 3. アステカに於ける聖なる空間 | 曾 野 鈴 子 (筑 波 大) |
| 4. Heruka と Hēraklēs | 島 田 茂 樹 (東 方 研 究 会) |
| 5. ゴロアスター教徒パーシーの家族の構造の一側面について | 中 別 府 温 和 (西 南 女 短 大) |
| 6. 吉田神道の道教的要素について—吉田神道神経群を中心として | 出 村 龍 日 |
| 7. 吉田兼俱と『太上説北斗延生真経』 | 菅 原 信 海 (早 大) |

9月15日(金) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 8. 植村正久の神道観 | 岩 瀬 誠 (國 學 院 大) |
| 9. 大祓の歴史的展開 | 三 橋 正 (大 正 大) |
| 10. 「祓え」の変遷について | 大 垣 豊 隆 (神 宮 研 修 所) |
| 11. 明治末期の神社整理と神饌幣帛供進社の指定 | 櫻 井 治 男 (皇 學 館 大) |
| 12. 真清田神社古縁起に関する一考察 | 白 山 芳 太 郎 (皇 學 館 大) |
| 13. 中世諏訪祭祀と大祝一神使との関連から | 島 田 潔 (國 學 院 大) |
| 14. 上野国の熊野師檀関係 | 石 倉 孝 祐 (國 學 院 大) |
| 15. 大嘗祭祭神論の一視点 | 高 森 明 勅 (國 學 院 大) |
| 16. 人類のテクノロジーとしての祭儀の意義：大嘗祭を中心として | 平 野 孝 國 (新 潟 大) |
| 17. 象徴天皇の祭祀 | 村 上 重 良 (慶 大) |

9月16日(土) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 18. ルーマニアにおける死の表象 | 新 免 光 比 呂 (東 大) |
| 19. バタック族(インドネシア・スマトラ島)の宗教について | 山 本 春 樹 (天 理 大) |
| 20. 韓国のムーダンにおける憑依体験をめぐって | 丹 羽 泉 (I C U) |
| 21. D.L.ムーディの千年王国論 | 小 松 加 代 子 (筑 波 大) |
| 22. アメリカ合衆国奴隷制度に及ぼしたキリスト教の影響 | 氷 見 いく 子 (大 谷 女 大) |
| 23. アメリカ・メソディズムと奴隷制 | 山 中 弘 (愛 知 学 院 大) |
| 24. ドイツ・スイスにおける Hausinschrift の特質 | 植 田 重 雄 (早 大) |

9月16日(土) 午後(13:00~16:20)

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 25. 永遠なる福音と自由恋愛—ランターズ運動の聖霊主義的千年王国論 | 木 田 理 文 (文化伝承研究センター) |
| 26. ナーナクの神観念におけるイスラムの思想の影響について | 保 坂 俊 司 (東 方 研 究 会) |
| 27. イスナームにおける罪の概念—コーランを中心として | 澤 井 義 則 (天 理 大) |
| 28. イブン=ハルドゥーンの宗教社会学思想 | 中 村 廣 治 郎 (東 大) |
| 29. メッカ巡礼行事の現状 | 磯 崎 定 基 (大 東 文 化 大) |
| 30. イスラームにおける「聖者」とジン | 田 中 哲 也 (九 大) |

第7部会 (3棟—305)

9月15日(金) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 崇りと祭祀 | 村上 興 匡 (東 大) |
| 2. 移住者と祖先祭祀—母村の墓と位牌の継承をめぐる | 田島 忠 篤 (明 の 星 女 短 大) |
| 3. 枕飯の仏教儀礼と民俗 | 藤井 正 雄 (大 正 大) |
| 4. ブッダとオキナ | 山折 哲 雄 (日 文 研) |
| 5. 農民と狐—花山院家祈祷について | 菊池 武 (大 谷 大) |
| 6. 『丹生大明神告門』についての一考察 | 門屋 温 (早 大) |
| 7. 沖縄におけるキリスト教と民俗宗教 | 小川 順 敬 (駒 大) |

9月15日(金) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 8. 久高島のイザイホーにおける宗教文化統合の分析 | 野村 暢 清 (久 留 米 大) |
| 9. 天師府の祀りについて | 窪 徳 忠 (駒 大) |
| 10. 台湾の王爺信仰 | 高橋 晋 一 (慶 大) |
| 11. 怨念の文化の中の日系宗教—ブラジル稲荷会を事例として | 渡辺 雅 子 (明 治 学 院 大) |
| 12. 東方典礼 (ロシア正教) の復活祭について | 尾田 泰 彦 (大 正 大) |
| 13. 秋葉信仰と秋葉三尺坊の七十五膳について | 渡部 正 英 (駒 大 高) |
| 14. 在日韓国・朝鮮人社会における先祖祭祀と民俗意識 | 飯田 剛 史 (富 山 大) |
| 15. ネパールにおける種族複合的地域社会とその信仰構成 | 高橋 涉 (宮 城 学 院 女 大) |
| 16. ブラジル生長の家と非日系人 | 中牧 弘 允 (民 博) |
| 17. 柱松行事の諸相について | 竹内 堅 丈 (愛 知 学 院 大) |
| 18. 九識霊断師と俱生霊神—運命を予知する神と人 | 杉井 純 一 (駒 大) |
| 19. 占領体制下の新宗教弾圧—蠶字の場合 | 武田 道 生 (大 正 大) |

9月16日(土) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 20. 地方紙に見る民間巫者 | 池上 良 正 (弘 前 大) |
| 21. 黒住教系宗教学者大父母苑の創始者延原大川に就いての一考察 | 藤原 照 彦 |
| 22. 開教期如来教における神学の形成過程 | 神田 秀 雄 (天 理 大) |
| 23. 日本人をむしばむタタリ思想のおとし穴に関して | 佐村 隆 英 |
| 24. 終末論的宗教運動の挫折と変容—ほんみち天理三輪講系の場合 | 弓山 達 也 (大 正 大) |
| 25. 大本系教団の鎮魂帰神行法における憑霊型と脱魂型のせめぎあい | 津城 寛 文 (日 本 学 術 振 興 会) |
| 26. 大本教団の神観の変遷 | 出口 榮 二 (早 大) |
| 27. 古義真言宗高野山派の本末・檀家制度の成立と組織 | 日野 西 眞 定 (高 野 山 大) |

9月16日(土) 午後(13:00~16:20)

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 28. 儀礼の音の諸相(続)—アフロ・カリビアン・カルトを事例として | 長 嶋 佳 子 (大 阪 学 院 大) |
| 29. アニミズムと多神教のあいだ—沖縄・那覇の拝所の変化について | 佐々木 宏 幹 (駒 大) |
| 30. ラーマクリシュナ・ミッションの社会活動について | 堀内 みどり (天 理 大) |
| 31. 寺院のアジール (asyl) 権—薩摩の場合 | 根井 浄 (神 戸 常 盤 短 大) |
| 32. 供儀における「力」 | 檜尾 直 樹 (東 大) |
| 33. 「シビュラの託宣」—伝説のシビュラをめぐる | 朝井 かおる (北 大) |

第 8 部会 (3 棟—304)

9月15日(金) 午前(9:30~12:10)

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. マックス・ウェーバーと『バガヴァド・ギーター』 | 前川輝光(東大) |
| 2. D. Snow の「回心の社会学」と NSA 研究 | 大久保雅行(久留米大) |
| 3. 鈴木大拙博士論—禅と茶— | 和田真二 |
| 4. 鈴木大拙の靈性の思想をめぐって | 坂本弘(大谷大) |
| 5. 清沢満之における哲学と宗教 | 加藤智見(東京工芸大) |
| 6. 三木清の宗教観について | 田辺正英(富山医薬大) |
| 7. エルンスト・ヘッケルの生物学的原則と宗教経験的原理 | 玉城康四郎(日大) |

9月15日(金) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 8. 西田哲学における意識の問題 | 中山一萱(京都産大) |
| 9. 中期西田哲学における「場所」の概念 | 小坂国継(日大) |
| 10. 西田哲学における場所の思想 | 岡廣二(十文字学園) |
| 11. 西田哲学における絶対者の問題—法性法身と方便法身 | 海辺忠治(相愛大) |
| 12. 絶対無の哲学と宗教経験 | 沼田滋夫(横浜国大) |
| 13. 宗教的治癒に関する一考察 | Carl Becker(筑波大) |
| 14. 宗教教育と治療教育について | 西田隆男(自由の森学園) |
| 15. オットー・ランクにおける宗教と心理学 | 安藤泰至(米子高専) |
| 16. 宗教教育と「現代社会」—現代に生きる日蓮聖人の教え— | 渡辺寛勝(身延山短大) |
| 17. 清規について—考察—禅林学校の教育理念— | 荒川元暉(正眼短大) |
| 18. 中世禅林の信仰と美術—「螢山清規」の考察を中心として | 金子和宏(曹洞宗宗学研究所) |

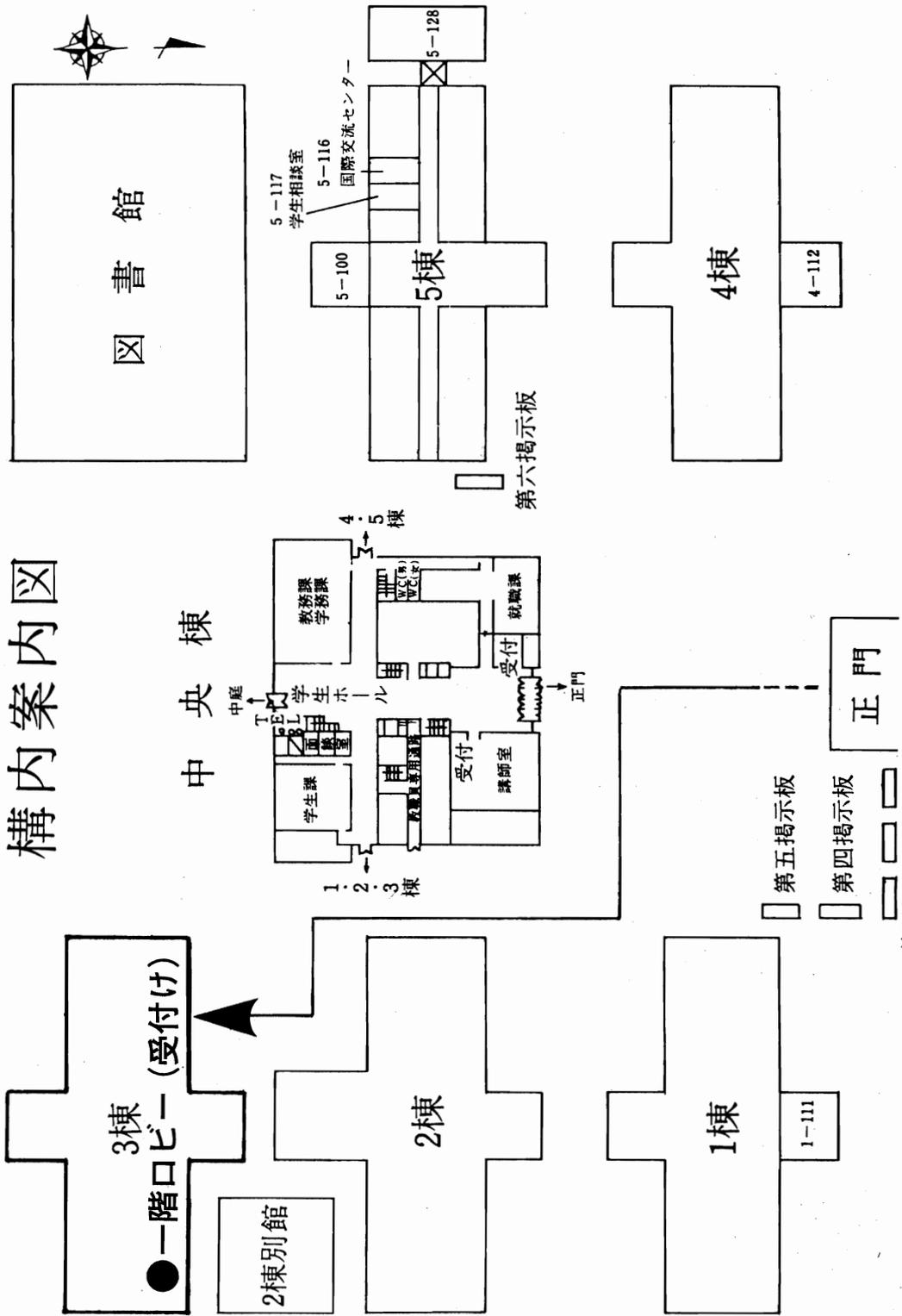
9月16日(土) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 19. 井上正鐵の身体観 | 荻原稔(府中養護学校) |
| 20. 祀るカミと祀られるカミ—祭祀の意味と構造をめぐる—考察— | 中村生雄(静岡県立大) |
| 21. 『古事記』の神の生・成 | 白江恒夫(芦屋大) |
| 22. 「マリア」は「象徴」か?—宗教研究における象徴概念の有効性 | 寺戸淳子(東大) |
| 23. ウィリアム・ジェイムズの靈魂論 | 吉永進一(京大) |
| 24. ミッション・スクールの教職員の意識調査から—その4 | 北川直利(聖霊女短大) |
| 25. 万国宗教会議百周年を控えた宗教協力諸団体の世界的動向 | 三宅善信 |

9月16日(土) 午後(13:00~16:20)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 26. 修養型新宗教における癒し—修養団捧誠会の場合— | 永井美紀子(東大) |
| 27. 修養団捧誠会の倫理 | 島蘭進(東大) |
| 28. 新宗教における日常倫理について | 鳥井由紀子(東大) |
| 29. 生命・医療の倫理学と宗教との関わり | 土田友章(名古屋聖霊短大) |
| 30. 宗教と倫理及び科学との関係 | 築山修道(大谷大) |

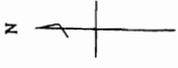
構内案内図



- 第五掲示板
- 第四掲示板
- 第三掲示板
- 第二掲示板
- 第一掲示板



3棟2階



● クローク

3-208 収容能力 79人
最大収容能力 45人
入試時(定)員 45人

WC (女)

● 会員控室

3-205 収容能力 79人
最大収容能力 45人
入試時(定)員 45人

3-204 収容能力 79人
最大収容能力 45人
入試時(定)員 45人

● 第三会場

● 第四会場

● 第二会場

3-210 収容能力 67人
最大収容能力 45人
入試時(定)員 45人

● 第一会場

3-209 収容能力 67人
最大収容能力 45人
入試時(定)員 45人

● 学会本部

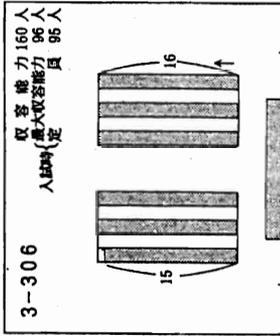
3-202 収容能力 79人
最大収容能力 45人
入試時(定)員 45人

3-203 収容能力 79人
最大収容能力 45人
入試時(定)員 45人

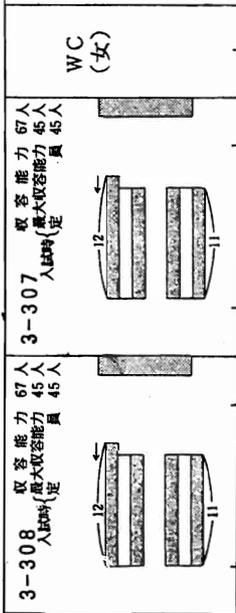
● スライド用

3-201 収容能力 144人
最大収容能力 96人
入試時(定)員 95人

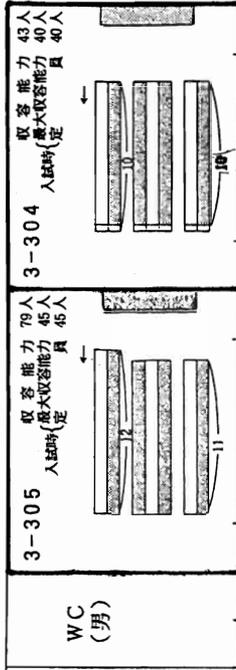
3棟3階



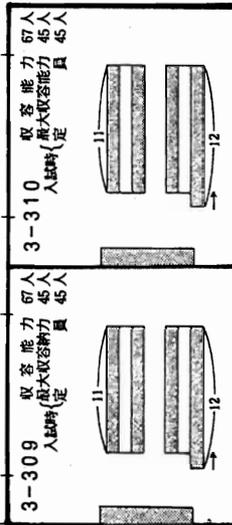
● 第七会場



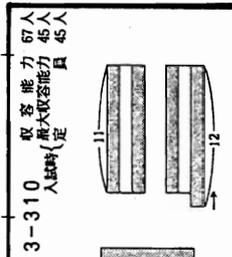
● 第八会場



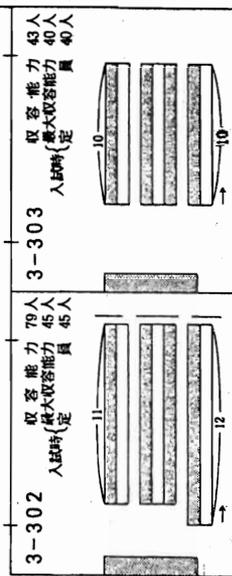
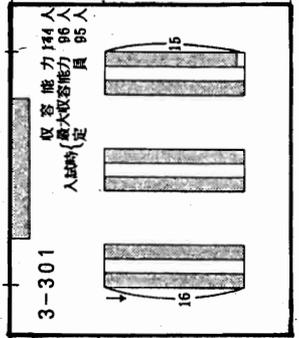
● 第五会場



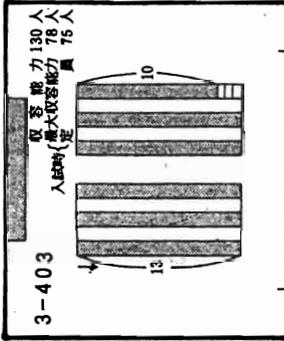
● 第六会場



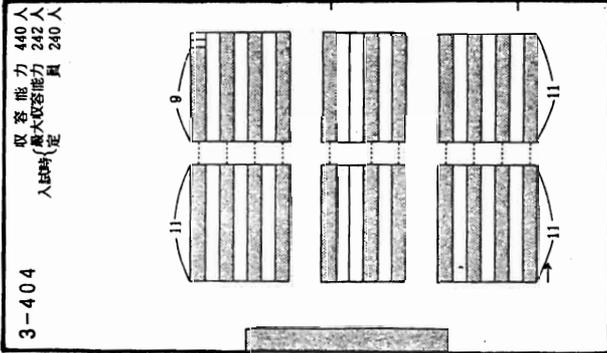
● 学生控室



3棟4階

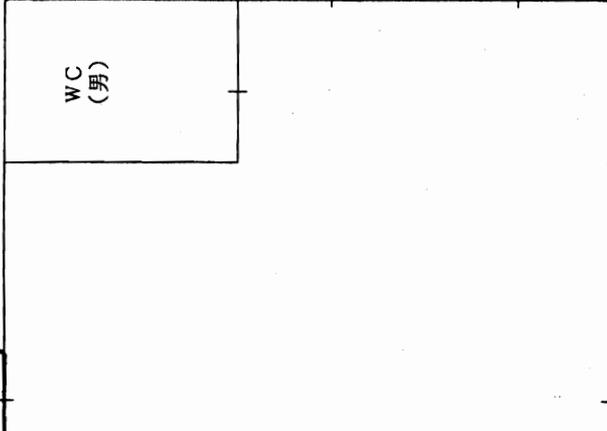


●開会式 (総会・閉会式)



WC (女)

●スライド用



●評議員会場

